くみあいNEWS

第１５３０６号
2022年12月28日(水)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区(本部)(54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

第53期 第18回中央委員会報告

【日時】12月27日(月)17時15分～18時50分【出欠】出席76名 委任24名 欠席0名/100名
【議長】玉井　議長

１．報告事項

（１）上部団体会議報告
・第２２回中央執行委員会報告
・中央労使協議報告
１２／　６　経営委員会「２０２２年度下期定例経営委員会」
１２／　７　臨時経営委員会・労使協議会「瀬戸内製鉄所呉地区の休止に伴う配転先について（その２）」
１２／２０　労使協議会「２０２３年度全社安全衛生活動方針について」
１２／２３　経営委員会「２０２２年度第４／四半期生産計画について」

（２）箇所労使協議報告
・１２／２３　経営委員会「２０２２年度下期経営委員会」
経営委員会「１月度生産計画について」
労使協議会「２０２２年度４／四期要人員計画について」

（３）日本製鉄健康保険組合第３５回理事会報告

（４）第１５回政策実現対策委員会報告

（５）執行部衛生巡視結果報告

（６）「年末助け合いカンパ」の取り組み結果報告

（７）割引契約施設との新規契約について

２．協議事項

３．審議事項

（１）和歌山労組におけるＡＰ２３春季取り組みに関する件（案）

４．その他

（１）１月度日程について

報告事項７件、異議なく承認
協議事項０件、審議事項１件
満場一致で可決・決定

中央委員会の議事内容（抜粋）を紹介します

「年末助け合いカンパ」の取り組み結果報告について

年末助け合いカンパにご協力いただいた皆様に御礼申し上げるとともに、今回の取り組み結果について報告します。

１. 集約結果

支部名	カンパ額
総務	150,000 円
工程技術	153,200 円
鋼管技術	148,000 円
コークス	108,700 円
製銑原料	34,000 円
高炉	103,500 円
製鋼	156,309 円
ステンレス	76,556 円
鋼片	37,500 円
薄板	70,500 円
中径製管	116,500 円
中径製品	192,000 円
小径製管	126,100 円

支部名	カンパ額
小径製品	155,000 円
冷間製管	116,000 円
設備管理	105,300 円
中央整備	99,500 円
製銑整備	55,500 円
製鋼整備	46,035 円
圧延整備	71,500 円
海南整備	65,400 円
エネルギー	83,903 円
大形	84,615 円
設備総務	50,000 円
所幹部	10,000 円
労働組合	21,000 円
合計	**2,436,618** 円

２．カンパ金使途

（１）長期療養者お見舞い品
（２）逝去者御遺族お見舞い
（３）日本製鉄労連きずな基金・基幹労連ふれ愛カンパ
（４）釜石支援カンパ
（５）カンパ金使途合計＝１，８４２，５８５円
　　カンパ金残金　　＝　　５９４，０３３円※残金は福祉積立金に入金します





衣笠所長・寺浦副所長にもご賛同いただきました！

カンパのご協力ありがとうございました!!

割引契約施設との新規契約について

１．会 社 名　　株式会社１１７（和歌山県和歌山市湊３８番地１）

２．契約内容

【結婚式】　（１）披露宴総額より 20,000 円割引（両家が組合員の場合、総額 40,000 円割引）

（２）１１７グループ利用割引券 10,000 円贈呈（両家が組合員の場合は 20,000 円分贈呈）

【葬　儀】　（１）１１７プラン未加入の場合・・・①祭壇提示価格の 10%割引

②１１７グループ利用割引券（10,000 円）の贈呈

（２）１１７プラン会員の場合・・・・①会員価格が適用される

②加入コースより高額の祭壇利用の場合、追加祭壇との差額金５％を割引

③１１７グループ利用割引券（10,000 円）の贈呈

【各種宴集会・パーティ】※２０名以上の飲食を伴うもの

（１）会場使用料・・・無料

（２）飲　み　物・・・会場価格の 10%割引

３．利用方法　（１）「結婚式」「各種宴集会・パーティ」の割引適用は、申込時点までに施設発行の優待券、または組合員証（社員証可）を提示する。

（２）「葬儀」の割引適用は、告別式までに施設発行の優待券、または組合員証（社員証可）を提示する。

（３）「結婚式」「葬儀」の割引は、利用した施設の清算伝票より直接控除される。

（４）特約割引は重複して適用されない。

（５）葬儀において重複した場合、喪主家（又は長男）を優先する。

【参考】対象となる結婚式・葬儀施設

■ 結 婚 式 場

式　場	住　所
ラ ヴ ィ ー ナ 姫 路	姫路市神屋町3丁目－31
ラ・メゾン Ｓｕｉｔｅ	姫路市宮西町3丁目28－1
ミ ル ・ ア ン ジ ュ	加古川市尾上町安田413－1
ラ ヴ ィ ー ナ 相 生	相生市山手1丁目91
メゾン・ド・リヴァージュ	三木市末広1丁目2－44
ラ ヴ ィ ー ナ 和 歌 山	和歌山市中639－6
ラ・メゾン Suite(りんくう)	泉佐野市りんくう往来北2－48

■ 葬 祭 会 館

和 歌 山 セ レ モ 平 安	和歌山市手平5丁目1－23
紀 ノ 川 セ レ モ 平 安	和歌山市福島111
紀ノ川やわらぎホール	和歌山市福島111
榎 原 や わ ら ぎ ホ ー ル	和歌山市榎原245－1
紀三井寺やわらぎホール	和歌山市紀三井寺811－39
直 川 や わ ら ぎ ホ ー ル	和歌山市直川512－1
永 穂 や わ ら ぎ ホ ー ル	和歌山市永穂127－1
鳴 神 セ レ モ 平 安	和歌山市鳴神1007－3
有 本 セ レ モ 平 安	和歌山市有本728
西 浜 セ レ モ 平 安	和歌山市湊41－3
岩 出 セ レ モ 平 安	岩出市根来934－1
海 南 セ レ モ 平 安	海南市藤白194－4
泉 佐 野 セ レ モ 平 安	泉佐野市中庄1090－1
りんくうセレモ平安	泉佐野市松原1丁目3－15
和 泉 セ レ モ 平 安	和泉市唐国町1丁目9－2
貝 塚 セ レ モ 平 安	貝塚市堤273
岸 和 田 セ レ モ 平 安	岸和田市下野町3丁目10－19
土 生 や わ ら ぎ ホ ー ル	岸和田市土生町2丁目12－29
阪 南 セ レ モ 平 安	阪南市下出587－2
泉 南 セ レ モ 平 安	泉南市中小路3丁目2－1
泉南信達セレモ平安	泉南市馬場725

■ 葬 祭 会 館

会　館	住　所
姫 路 大 和 会 館	姫路市土山1丁目4－1
飾 磨 大 和 会 館	姫路市飾磨区細江580
しらさぎ大和会館	姫路市本町68－101
辻 井 や わ ら ぎ ホ ー ル	姫路市辻井2丁目4－33
今 宿 や わ ら ぎ ホ ー ル	姫路市西今宿3丁目10－7
広 畑 大 和 会 館	姫路市広畑区鶴町1丁目2
花 北 大 和 会 館	姫路市野里854－1
灘 浜 大 和 会 館	姫路市白浜町宇佐崎南2丁目36－1
網 干 大 和 会 館	姫路市網干区新在家1440－1
福 崎 大 和 会 館	神崎郡福崎町高橋621－5
福 崎 や わ ら ぎ ホ ー ル	神崎郡福崎町高橋621－5
龍 野 大 和 会 館	たつの市龍野町富永1005－87
太 子 大 和 会 館	揖保郡太子町矢田部347－3
揖 龍 大 和 会 館	揖保郡太子町佐用岡725－1
赤 穂 大 和 会 館	赤穂市海浜町1
上 郡 大 和 会 館	赤穂郡上郡町竹万2184
相 生 大 和 会 館	相生市垣内町1－25
加 古 川 大 和 会 館	加古川市野口町長砂870－2
加古川やわらぎホール	加古川市野口町長砂870－2
米 田 や わ ら ぎ ホ ー ル	加古川市米田町平津678－1
東 加 古 川 大 和 会 館	加古川市平岡町西谷24－1
北 加 古 川 大 和 会 館	加古川市八幡町中西条928－1
尾 上 大 和 会 館	加古川市尾上町養田160－1
高 砂 大 和 会 館	高砂市松陽3丁目89－1
明 石 や わ ら ぎ ホ ー ル	明石市北朝霧丘2丁目9－10
和 坂 や わ ら ぎ ホ ー ル	神戸市西区森友1丁目152－1
二 見 や わ ら ぎ ホ ー ル	明石市二見町東二見285－2
大 久 保 大 和 会 館	明石市大久保町福田209－9
播 磨 大 和 会 館	加古郡播磨町野添405
三 木 大 和 会 館	三木市別所町小林657－17
三 木 や わ ら ぎ ホ ー ル	三木市加佐120－1

「第２０回統一地方選挙」における立候補予定者の推薦について

２０２３年４月に執行予定の第２０回統一地方選挙において、現職である木畑ただし氏に対し、連合大阪が推薦を決定し、基幹労連大阪府本部においても推薦確認されたところです。

和歌山労組としても堺市在住組合員の生活の活性化、公正な市政運営に尽力いただけるものと判断し推薦を行うこととします。

１．堺市議会議員選挙（中区）

（１）氏　　名　　木畑　匡（きばた　ただし）

（２）生年月日　　昭和５１年　７月１９日生れ　４６歳

（３）経　　歴　　平成１５年１１月　衆議院議員　公設第二秘書

平成１８年　５月　木屋フードサービス　代表取締役

平成２１年　８月　衆議院議員　公設第二秘書

平成２３年　５月　堺市議会議員（現在３期目）



和歌山労組におけるＡＰ２３春季取り組みに関する件

１．日本製鉄労連としてのＡＰ２３春季取り組みへの対応（要旨）

日本製鉄労連は、第２２回中央執行委員会において、「日本製鉄労連としてのＡＰ２３春季取り組みへの対応について（案）」を提起し、総合的に勘案するとＡＰ２３春季取り組みにおいて、緊急を要する改善項目はないという考え方を示すとともに、２年サイクル運動のもと、政策実現活動に組織の総力をあげて取り組むこととしています。

また、今後の進め方として「各単組は、本内容について機関対応や職場討議等において職場動向の把握を行うこととし、その結果を来年１月１８日開催予定の第２３回中央執行委員会において集約し、それを踏まえ、『ＡＰ２３春季取り組みに臨む日本製鉄労連の基本スタンス（案）』を提起する」としています。

２．和歌山労組としての判断

和歌山労組としては、①ＡＰ２２春季取り組みで２年分の回答を得ている②物価上昇については、来年度半ばにかけて上昇幅が縮小していくと予想されており、政府による電気・ガス料金の価格の高騰に対する激変緩和措置も来年１月以降に講じられる③一時金の水準が来年度も高水準が見込まれていること等を踏まえると、足元の物価高を理由とした賃金改善要求を行うことは難しい状況にあると考えます。また、その他の改善項目についても連合会と同様、緊急性を有するものはないと判断します。

３．今後の進め方（抜粋）

和歌山労組は、連合会および和歌山労組のＡＰ２３春季取り組みの対応に関する職場動向の把握については、各支部において支部委員会や日頃の世話役（対話）活動を通じて実施し、出された意見等を踏まえ第２３回中央執行委員会に臨むこととします。

以上

第１８回中央委員会　組合長挨拶


山本組合長

中央委員の皆様、ご安全に。

２０２２年最後の中央委員会へのご対応、大変お疲れ様でした。コロナ禍３年目の今年も残すところ５日となりましたので、一年を振り返りながら来年の課題を申し上げ、年末のご挨拶に代えたいと思います。

まず、新型コロナウイルス感染症による「新しい生活様式」が定着し、会社生活および組合活動におけるコミュニケーションが図りにくい環境下にあるものの、ＡＰ春季取り組み、国政ならびに地方選挙、各支部活動、経営対策など、多岐にわたる取り組みに対し、支部長を中心とした役員の皆様に多大なるご協力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

ＡＰ２２春季取り組みでは、２年サイクルの総合改善年度として２０２２年度・２０２３年度ともにミニマム水準である３，５００円の賃金改善を求め、２２年度３，０００円、２３年度２，０００円という会社の強いメッセージが込められた回答を得ました。和歌山地区の生産設備構造対策に戸惑いながらも、歯を食いしばって協力していただいている職場組合員の賃上げに期待する声が日本製鉄労連を後押しし、和歌山労組として団体交渉の盛り上げに寄与できたことは間違いありません。好業績に伴う一時金水準も申し分なく、生活の安心・安定に大きく繋がる労働諸条件の改善が図られた結果となりました。

第２６回参議院議員選挙では、我々ものづくりの代表として「村田きょうこ」氏を国会に送り出すという一大プロジェクトが掲げられ、全国オルグが和歌山からスタートした責任を果たすべく、執行部と各支部が緊密に連携し創意工夫を凝らしながら「きょんきょんファンクラブ」の活性化に努めていただきました。和歌山・堺・海南それぞれの地区での熱心な取り組みを日増しに肌で感じ、勝利の機運が高まってきたのを今でも覚えています。和歌山の得票率が全国トップクラスという結果からも、和歌山労組組合員の団結力を心底誇りに思っています。

青年女性部においても若者らしくエネルギーを遺憾なく発揮してくれた一年でした。今期スタート時、北岡青年女性部長に対し「コロナ禍でもどうすれば行事が出来るか考えてほしい。全面的に協力する」旨を申し上げ、その期待に応えてくれました。特に、春先のいちご狩りや夏場のＵＳＪ日帰りツアーなど、ご家族含めたイベントを成功していただき、職場行事を自粛せざるを得ないという閉塞感漂う空気を一掃してくれました。組合長として我が青年女性部は頼もしい限りです。

こうした組合活動の原点は「職場」であり、今期の重要テーマである組織力の強化、すなわち支部が主体性を持って職場労使を強固にするべく、支部長には職場の組合長としてリーディングをお願いし、その成果が現れていることに他ならないと思っています。運動方針、経営諸施策、ＡＰ春季取り組み等の職場説明も執行部ありきではなく「支部会議」として開催回数を大幅に重ねてくれたことが、組合員と支部役員の活発な意見交換の場に変容し、職場実態のさらなる把握に繋がっていると捉えております。もちろん執行部はアンテナを張り巡らし、職場の課題発掘に専念することは言うまでもなく、その努力を怠らないよう努めて参ります。

一方、経営諸施策については、２高炉１基体制のもと主力製品である中径シームレスが世界情勢に端を発したエネルギー事情の変化に鑑み、減産を余儀なくされた上期から一転して下期以降、本格的な増産体制へ移行しています。小径シームレスについても所要増での安定生産を継続、形鋼ではメガハイパービームの需

給がタイトであり、薄板は部品不足による自動車メーカーの生産調整から量は浮上しておりませんが、確実な作り込みや品質確保に努めていただきました。また、操業の屋台骨である設備部およびエネルギー部、スムーズな物流・出荷など、労使・直協一体となって和歌山地区の生産を守っていただき、労働組合の立場からもお礼を申し上げる次第です。

さて、来年の課題については多々ありますが、やはり統一地方選挙に全集中しなければなりません。今年は参議院議員選挙、和歌山市長選挙、和歌山県知事選挙と選挙イヤーであり、和歌山労組の推薦者はすべて当選されましたが、４月に執行される和歌山県議会議員選挙では現職の「浦口こうてん」氏を、和歌山市議会議員選挙では初陣の「清末ひろよし」氏を、必ずや議会に送り出すことが肝要です。

浦口氏のご功績は生活総点検活動での企業外事項について、県や市に対し迅速かつ効果的にご対応され、県議会では生産設備構造対策での設備休止に伴う雇用の場の懸念を知事に訴えるなど、製鉄所の課題について愚直に向き合っていただきました。和歌山労組にとりまして引き続きの連携が不可欠である議員のお一人です。また、清末氏は執行部の経験から地域の仲間や行政との人脈を有しており信頼も厚く、寒川和歌山市議会議員の後継者として立候補を決意された我々の仲間です。お二方とも余人をもって代えがたい人物であり、我々が推進する政策実現活動の代弁者となりますので、支部役員はもとより職場からの絶大なるご支援を何卒よろしくお願い致します。

いずれにしましても、肝心要の安全が大きく揺らいだ１年であったことは遺憾であり、休業災害４件、不休災害２０件も発生したことについて、直・協すべての職場にはびこる潜在的リスクの抽出が不十分であることを物語っています。現在展開中の年末年始安全強化活動において、執行部と支部による職場巡視や門前立哨を中心に安全作業への呼びかけを継続しております。会社ならびに基幹労連和歌山県本部とも連携しながら、災害を未然に防ぐ危険予知の徹底や作業者同士の声かけなど、ゼロ災製鉄所の実現に向けて和歌山労組の安全活動を進めて参ります。

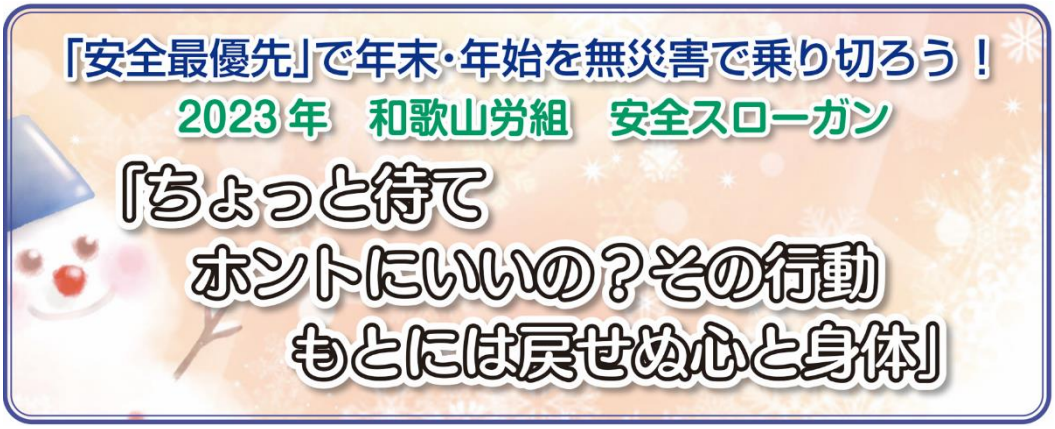
結びに、年末年始もお仕事に従事される方が無災害で乗り切れるよう支部役員のご配慮をお願いするとともに、２０２３年が組合員の皆様にとりましてご家族ともども幸多き年となりますことを心からご祈念申し上げ、年末のご挨拶に代えさせていただきます。一年間ありがとうございました。

ご安全に。

２０２２年１２月２７日

日本製鉄和歌山労働組合

組合長　山本　龍一



※前号（15305）において、上記スローガンに一部誤字がございました。心よりお詫び申し上げ訂正いたします。